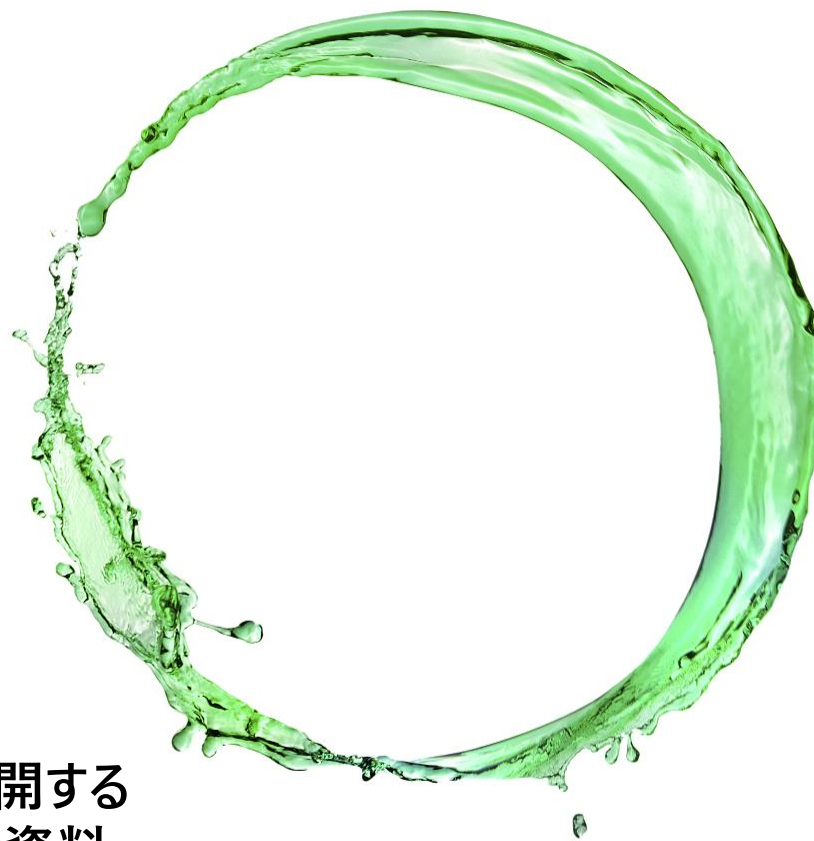


Deloitte.

デロイト トーマツ



ESGソリューションサービスを展開する 各社との対談シリーズ：参考資料 ～パーセフォニ・ジャパン様との対談～

デロイト トーマツグループ

(本資料の情報は 2023/11/1時点のものです)

アンケート回答 (1 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
1	製品概要	ESGソリューションの製品名、製品タイプ、注力領域、製品概要（200文字以内）、セキュリティ関連：価格体系を回答ください。価格体系についてはA4×1枚で補足資料を提供ください。	<p>ESGソリューション製品名（既にローンチされている製品、複数ある場合は主要3製品まで）： CMAP 2.0</p> <p>製品タイプ（以下より単一選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> SaaS型（基本的なカスタマイズに対応） <input type="radio"/> SaaS型（個社要件に応じた柔軟なカスタマイズが可能） <input type="radio"/> オンプレミス・ローコード型 <input type="radio"/> オンプレミス・ノーコード型 <input type="radio"/> その他（製品概要に記載） <p>最も注力する領域（以下より単一選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 各種フレームワークに標準対応した情報開示 <input type="radio"/> ワークフロー/内部統制/監査証跡/内部管理 <input type="radio"/> 経営管理/意思決定サポート/マネジメントツール <input checked="" type="radio"/> 非財務情報（GHG排出量等）収集/算定/可視化/モニタリング <input type="radio"/> サプライチェーンリスク・機会評価 <input type="radio"/> 製品/サービス影響評価 <input type="radio"/> 他社/業界/外部連携プラットフォーム <input type="radio"/> その他（製品概要に記載） <p>製品概要（200文字以内）： GHGプロトコルに準拠した組織のサプライチェーン（スコープ1-3）を通じたCO2を含むGHG排出量を算定・管理・報告を実現するクラウドサービスです。また、ベンチマークや削減施策提案・管理機能等の周辺機能も充実しており、脱炭素化に向けた計画も立案いただけます。</p> <p>セキュリティ関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ISMS認証取得（ISO/IEC27001など） <input checked="" type="checkbox"/> 認証機能（ログインなど） <input checked="" type="checkbox"/> 機能制限・権限制御 <input checked="" type="checkbox"/> データの暗号化 <input checked="" type="checkbox"/> 不正検知・監視機能 <p>価格体系</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> パッケージ料金制 <input type="checkbox"/> 従量課金制 <input type="checkbox"/> その他の価格体系（下記に記載：50文字内）：
2	主要ターゲット	最も注力する企業規模を選択ください。	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> グローバルに事業展開する大企業 <input type="radio"/> 主に国内で事業展開する大企業 <input type="radio"/> 中小企業 <input type="radio"/> ベンチャー・スタートアップ
3	対象領域	貴社製品が対象範囲とするESG領域を回答ください。（複数選択）	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 気候変動・脱炭素（下記より選択） <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> Scope1 <input checked="" type="checkbox"/> Scope2 <input checked="" type="checkbox"/> Scope3 <input type="checkbox"/> 製品カーボンフットプリント <input type="checkbox"/> 資源循環・サーキュラーエコノミー <input type="checkbox"/> 水資源 <input type="checkbox"/> 化学物質・汚染の予防 <input type="checkbox"/> 自然資本・生物多様性 <input type="checkbox"/> 人事・労務 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生 <input type="checkbox"/> 人権 <input type="checkbox"/> 調達・サプライチェーン <input type="checkbox"/> 社会貢献 <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス <input type="checkbox"/> コンプライアンス <input type="checkbox"/> リスクマネジメント <p><input type="checkbox"/> その他のESG領域（下記に記載：50文字内）：</p>

アンケート回答 (2 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
4	基本機能 (インプット)	データのインプットに関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ マニュアル入力 ■ ファイルのインポート (エクセルやCSVファイルなどの取り込みを想定) ■ 社内他システムからの連携・インポート※ (会計、生産管理、人事、廃棄物管理、等を想定) ■ 社外他システムからの連携・インポート※ (排出原単位DB、サプライチェーン、顧客、業界プラットフォーム、ESG評価機関DB、等を想定) ■ サプライヤー等、外部ユーザーによるマニュアル入力・ファイルインポート等による入力 (取引先からのGHG排出量等を想定) ■ 入力エラーチェック機能 ■ 複数言語対応 ■ 対象データ ■ 定量情報 (各種活動量等を想定) <input type="checkbox"/> 定性情報 (推進体制、各種方針等を想定) <p><input type="checkbox"/> その他のインプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>※他システムからの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) :</p>
5	基本機能 (プロセス)	インプットしたデータの処理に関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの蓄積・保管 ■ 傾向分析 ■ 将来予測 <input type="checkbox"/> シミュレーション <input type="checkbox"/> AI連携機能 (例: ESGの取り組みが株価の時価総額に与える影響をAIモデルによってシミュレーション可能、など) ■ 単位変換 ■ 係数換算 ■ 階層・組織別集計 標準対応している階層・組織数を記載ください () ■ 報告先毎の換算係数制御 (温対法・省エネ法、GHGプロトコル等を想定) ■ KPI自動計算 (下記より選択) ■ Scope1排出量 ■ Scope2排出量 ■ Scope3排出量 <input type="checkbox"/> リサイクル率 (廃棄物) <input type="checkbox"/> リサイクル率 (水) <input type="checkbox"/> 女性管理職比率 <input type="checkbox"/> 男性育児休業取得率 <input type="checkbox"/> 男女間賃金格差 <input type="checkbox"/> 人材育成時間・費用 (一人当たり) <input type="checkbox"/> 度数率・強度率 <input type="checkbox"/> 平均年齢・平均勤続年数 <input type="checkbox"/> 離職率 <input type="checkbox"/> 独立社外取締役比率 <input type="checkbox"/> 女性取締役比率 <p><input type="checkbox"/> その他のKPI (下記に記載: 50文字内) :</p>
6	基本機能 (アウトプット)	処理結果のアウトプットに関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 標準テンプレートやダッシュボード画面への出力 <input type="checkbox"/> カスタム形式での出力 ■ 開示・報告フレームワークに対応した出力 (下記より複数選択) ■ 省エネ法 ■ 温対法 <input type="checkbox"/> GRI <input type="checkbox"/> SASB <input type="checkbox"/> TCFD <input type="checkbox"/> TNFD ■ 米国SEC気候変動開示規則 <input type="checkbox"/> 欧州CSRD・ESRS <input type="checkbox"/> ISSB S1-S2 <input type="checkbox"/> 目標未達等の設定基準に基づく自動アラート ■ 権限制御 <input type="checkbox"/> 社内他システムへの連携・エクスポート※ <input type="checkbox"/> 社外他システムへの連携・エクスポート※ <p><input type="checkbox"/> その他のアウトプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>※他システムへの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) : TCFDやISSBの開示については、S1-3の定量情報を一部提供する形に留まる</p>

アンケート回答 (3 of 3)

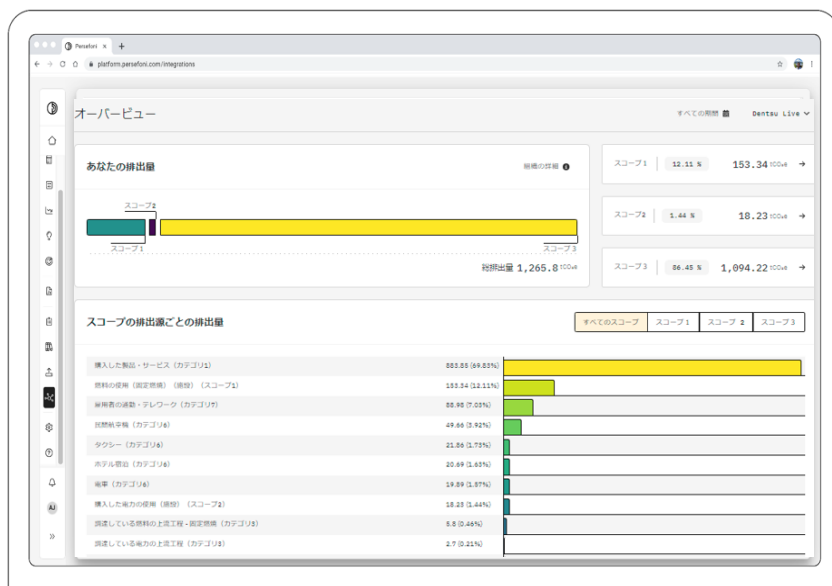
対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
7	製品・機能	貴社製品に内包されている気候変動・脱炭素に係る係数を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地球温暖化係数 (GWP) ■ スコープ1 換算係数 (地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における排出係数等を想定) ■ スコープ2 ロケーション基準への対応係数 (IEA 各国平均係数やIGESのCDMデータベース等を想定) ■ スコープ2 マーケット基準への対応係数 (電力事業者排出係数等を想定) ■ スコープ3 (係数対応しているカテゴリを以下より選択) <ul style="list-style-type: none"> ■ Cat.1 ■ Cat.2 ■ Cat.3 ■ Cat.4 ■ Cat.5 ■ Cat.6 ■ Cat.7 ■ Cat.8 ■ Cat.9 ■ Cat.10 ■ Cat.11 ■ Cat.12 ■ Cat.13 ■ Cat.14 ■ Cat.15 □ ライフサイクルインベントリ (LCI) データベース () <p>□ その他の係数 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>上記係数に関する補足があれば (100文字以内) :</p>
8	導入実績	導入実績について回答ください。 総数 (社、拠点、ユーザー) は全導入実績の合計数で回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総社数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ● ~10,000 ○ ~100,000 ○ 100,000~ ・ 総拠点数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ ~100,000 ● 100,000~ ・ 総ユーザー数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~10 ○ ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ● ~100,000 ○ 100,000~ ・ 導入実績の多い国・地域 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本国内 ● 海外 ・ 最も導入実績の多い企業規模 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ● グローバルに事業展開する大企業 ○ 主に国内で事業展開する大企業 ● 中小企業 ○ ベンチャー・スタートアップ ■ 外部システムとの接続実績 (主要接続先を3つ以内で記載ください) <ul style="list-style-type: none"> 1 : (Workiva) 、 2 : (Google G-suite) 、 3 : (SAP Concur) □ 導入実績なし
9	体制	導入支援体制や標準的な導入期間、導入後のサポート体制について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入支援体制の総人員数 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~10 ● ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ 10,000~ ・ 社外協力ベンダー認定制度 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ある ○ ない ● 検討中 ・ 社外協力ベンダーの総人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~10 ○ ~100 ● ~1,000 ○ ~10,000 ○ 10,000~ ・ 標準的な導入期間 (以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~1ヶ月 ● 1ヶ月~半年 ○ 半年~1年 ○ 1年~2年 ○ 2年~ ・ 導入後支援体制の人員数 (社内で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~10 ● ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ 10,000~ ・ 導入後支援体制の人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) <ul style="list-style-type: none"> ○ ~10 ● ~100 ○ ~1,000 ○ ~10,000 ○ 10,000~ ・ 導入後のサポート機能 (以下より複数選択) <ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルプデスク ■ メール □ チャット ■ 通話 ■ 左記の多言語対応: 日英
10	拡張	今後、拡張予定の領域や機能について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張予定 (200文字以内) :

パーセフォニ・ジャパン様からのご提供資料 (1 of 4)

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

排出量傾向分析・削減プランニング機能 イメージ



パーセフォニ・ジャパン様からのご提供資料 (2 of 4)

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

Persefoniが提供するソフトウェア

炭素会計プラットフォーム (Climate Management & Accounting Platform)

組織や投資先の**温室効果ガス**を、**GHGプロトコル・PCAFの国際基準の両方に準拠**し、**一元的・自動的に算定、分析**できるプラットフォーム

金融機関及び企業における
排出量算定、分析を圧倒的に簡易化



2022年1月 日本語版プラットフォームのサービス提供開始しています



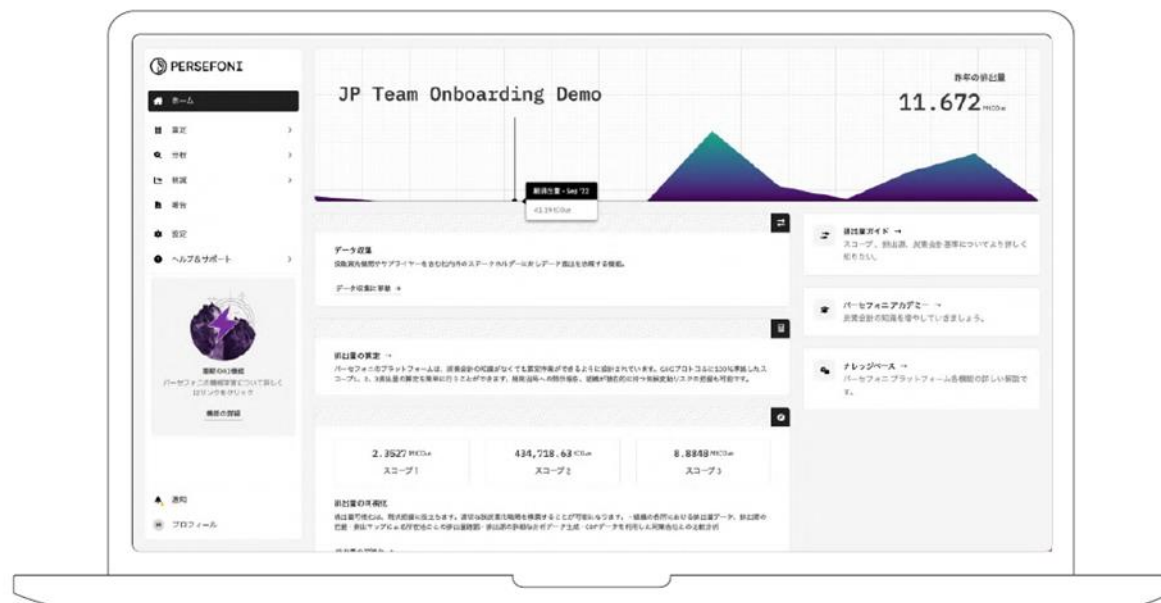
パーセフォニ・ジャパン様からのご提供資料 (3 of 4)

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

費用について

パーセフォニーのプラットフォーム価格については企業・金融機関様の売上高・純資産をベースにご提案をさせて頂いております。より詳細の貴社・貴行への具体的な費用お見積りについては営業担当までご確認をお願いいたします。以下が基本機能と各種オプションのスタート参考価格となります。

モジュール名と各種オプション	スタート価格
基本機能 (Core)	200万円～
ネットゼロナビゲーター (オプション)	200万円～



パーセフォニ・ジャパン様からのご提供資料 (4 of 4)

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

12ヶ月 サブスクリプション (基本機能 Core 詳細サービスメニュー内訳)

提供者	頻度 (目安例)	提供内容		詳細
PERSEFONI	月2回 1回1時間	気候変動コンサルティング	ロジック整理	温室効果ガスプロトコルの取扱踏まえた算定ロジックに関するご確認及びご助言
		気候変動コンサルティング	データ収集	算定対象となる領域やスコープなどに関するご助言と入手可能なデータに基づく算定手法に関するご助言
		気候変動コンサルティング	算定	適切なスコープやカテゴリなどに関するご助言と活動量と排出量のマッピングの進め方へのご助言及び実施結果の確認
	無制限	プラットフォーム	基本機能ソフトウェア (Core)	データ収集、算定、可視化、分析、削減シミュレーション、報告機能を実装した機能へのアクセス
	月2~4回 1回1時間	カスタマーサクセス サポート	取組計画策定	面談形式・オンライン形式での)会議体の設定、目標への進捗管理、今後の取り進め内容踏まえた研修計画を協議の上、策定
		カスタマーサクセス サポート	プロジェクト推進管理	Persefoniを使った取り組みを通じて、温室効果ガス算定における関連する御社内関係者様を巻き込んだ形でコミュニケーションを取り纏め、推進いたします
		カスタマーサクセス サポート	トレーニング	Persefoniプラットフォームの使用方法に関して、御社関係者の皆様が自走可能な状態まで実践的なトレーニングを通じてサポートし、新機能が実装された際もトレーニングを実施致します
		カスタマーサクセス サポート	トラブルシューティング	差し違った問題や課題、そして機能として改善を求める依頼が発生した場合、 Persefoniのエンジニア及び関係者へ周知の上、解決を図ります。
allganize	処理枚数 1500/月	オプションサービス 1 (別費用)	請求書データ読み込み	各種紙媒体含めた請求書の AI技術を活用した自動読み込みサービスソリューション
workiva	無制限	オプションサービス 2 (別費用)	レポート作成	各種統合報告書や財務、非財務、ESGレポート作成ソリューション

Persefoni Inc. All Rights Reserved. Proprietary & Confidential



Deloitte.

デロイト トーマツ

デロイト トーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスク アドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約1万7千名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュート マツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバル ネットワーク 組織を構成するメンバー ファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数 を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバー ファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバー ファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、リスク アドバイザリー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約415,000名の人材の活動の詳細については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、DTTL、そのグローバル ネットワーク 組織を構成するメンバー ファームおよびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301